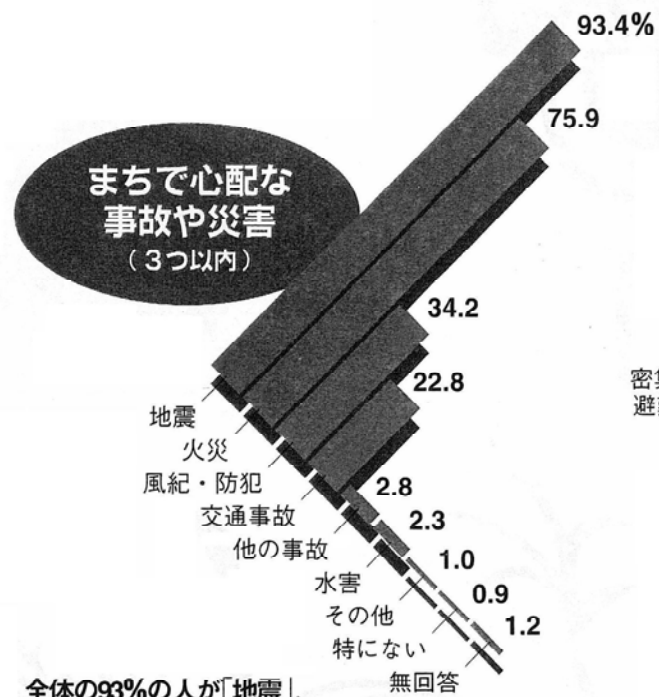


まちの災害と防災について



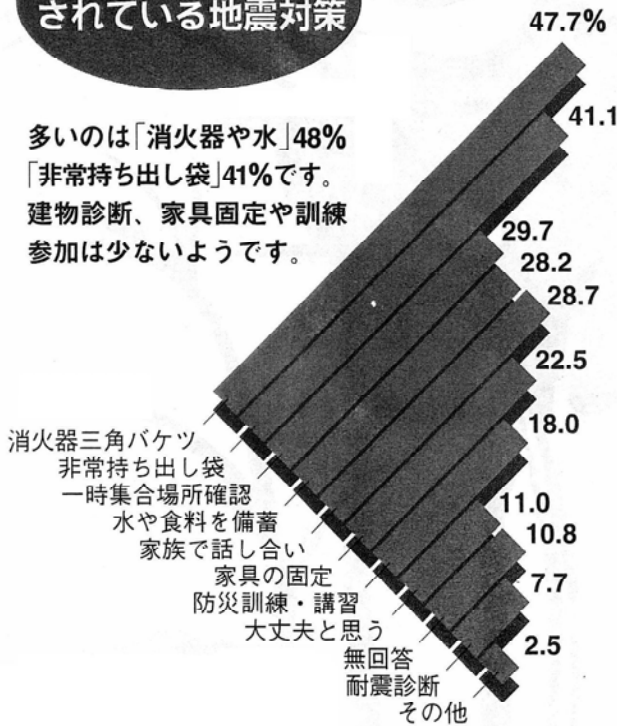
全体の93%の人が「地震」、76%の人が「火災」が心配とされています。



地震が起きると「大火災」59%、「避難場所まで遠い」46%、「消火の遅れ」42%、「建物倒壊」39%などが問題とされています。

家庭で実施されている地震対策

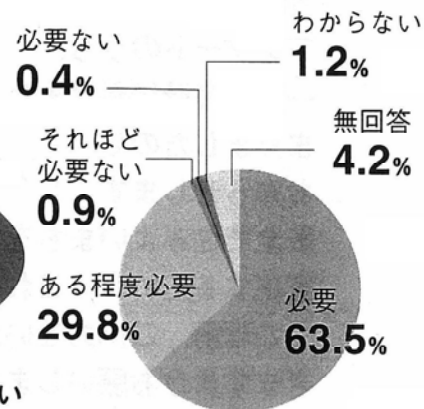
多いのは「消火器や水」48%、「非常持ち出し袋」41%です。建物診断、家具固定や訓練参加は少ないようです。



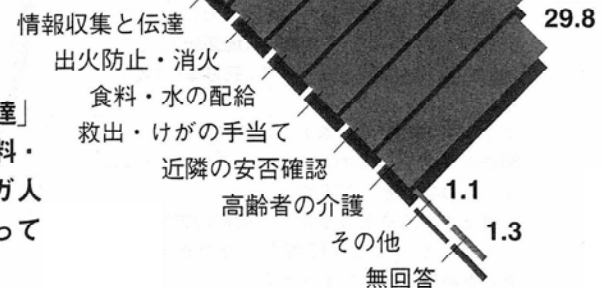
内容では「情報収集・伝達」75%、「消火」58%、「食料・水の配給」39%、「ケガ人の救出手当」37%となっています。

災害時の町内や隣近所の協力

災害時の住民間の助け合いは、計94%の人が必要としています。



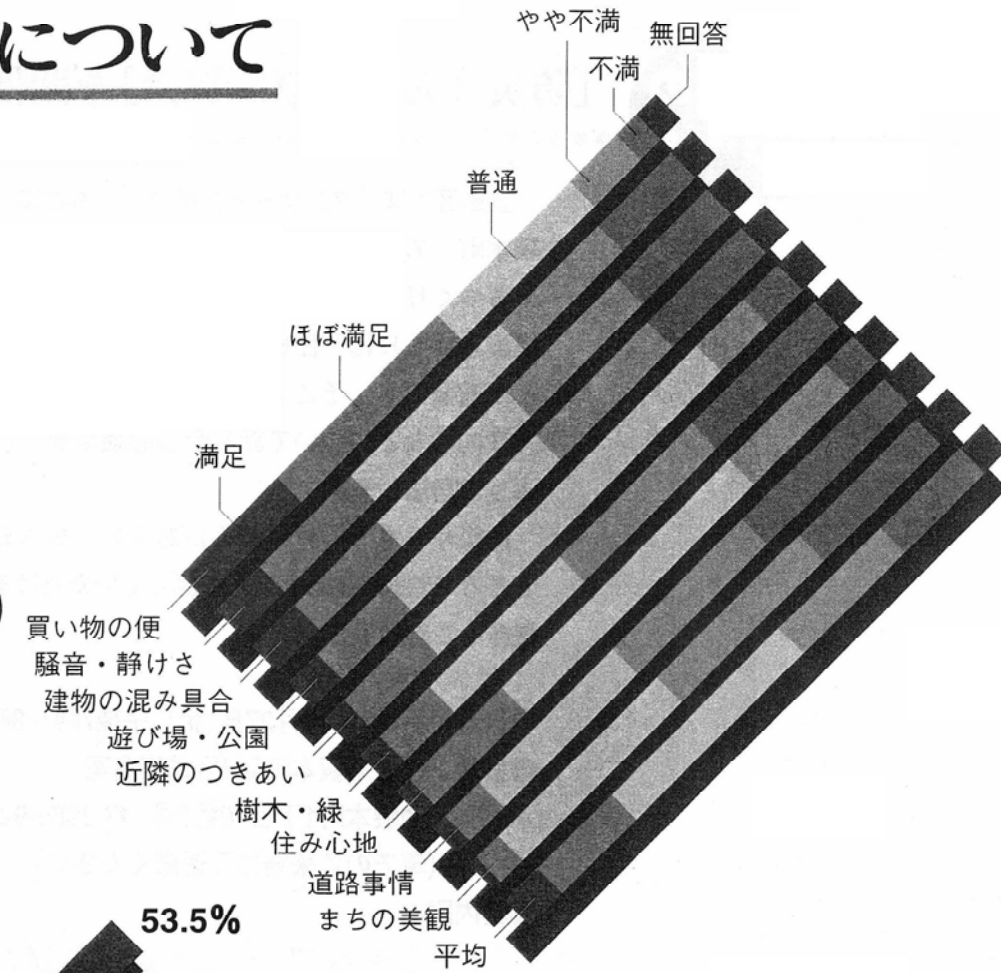
重要だと思う活動 (3つ以内)



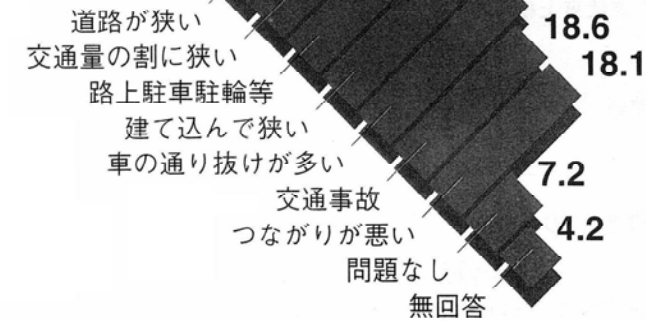
まちの住環境について

「満足」「ほぼ満足」が多いのは「買い物の便」(計54%)で、逆に「道路事情」「樹木・緑」「まちの美観」などは「不満」「やや不満」が50%を上回っています。「住み心地」は「普通」と答えた人が47%です。

住環境の満足度

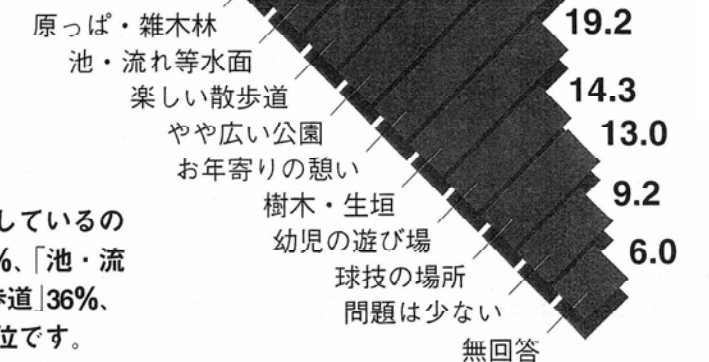


道路の問題点 (3つ以内)



道路の問題点としては、「道幅が狭い」が54%、「交通量が多い」43%、「駐車・駐輪」38%が上位です。

ほしい公園空地/緑 (3つ以内)



公園やみどりが不足しているのは、「自然の空間」51%、「池・流れ等水面」45%、「散歩道」36%、「広い公園」30%が上位です。